

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

戸部本町地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

地域全体としては、第一地区・第2地区の一部の町内は高齢化率が高く、高齢者独居世帯も増加傾向にあります。また、駅周辺を抱える第2地区・第五地区やみなとみらい地区では、子育て世代が増加しています。ケアプラザの立地は平坦地で交通の便が良いものの、急勾配の坂や交通量の多い国道がある地域で、みなとみらい地区からは公共交通機関の不便さがあり、ケアプラザの自主事業に参加しづらい地域住民層もあります。こうした地域住民への、より身近な場所での事業展開や啓発活動が必要です。

地域を個別に見ると、特に御所山町・伊勢町3丁目・西戸部町3丁目の高齢化率が突出（27～29%）しています。いずれも人口は少ないものの急坂の多い住宅地で、足腰の弱くなった高齢者にとって、ケアプラザまでは徒歩圏域とは言い難い地域です。各地域内での見守り活動や地域サロンなどの活動場所が必要ですが、既存の活動には決まった顔ぶれの参加者が多く、支援を必要とする幅広い住民のニーズを把握し切れていません。今後は支援者の担い手不足も予想されます。

また、地域支援者が存在はしているものの、個別の活動になりがちで支援者ネットワークの構築には至っていないことは地域の共通した課題といえます。支援者間で課題を共有し、協働して高齢者の生活環境の整備をしていくことが必要となってきます。

また、みなとみらい地区や横浜駅、戸部駅周辺地域には集合住宅が立ち並び、人口比率が大きく子育て世代も多く住んでいます。子育て支援拠点や地域主体の子育てサロン等の取り組みは行われていますが、産後、早い時期の社会復帰や転入、転出も多いことから地域とのつながりが希薄になることが懸念されます。都市型住宅の建設が進むなか、地区連合の取組が困難なみなとみらい地区への情報発信が課題となっています。

平成28年度は上記の課題解決に向けて以下の①～③について重点的に取り組みました。

- ① 地域住民のニーズ把握と社会資源（人、場所、活動）について集約し、これらの情報を整理する。
- ② 地域ケア会議を開催し、専門職種と地域住民との地域課題の共有を図る。
- ③ 住民の力を生かした事業展開と活動の支援を行う。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- (ア) ご利用になる方の安全確保を最優先するとともに、地域の皆様が快適に安心して利用できるような施設、設備の管理・保守に努めました。
設備の定期点検は専門業者が行い、不具合には速やかに点検修理を行いました。エレベーターなどの保守点検も定期的を実施しました。
- (イ) 施設内は毎日の清掃、月1回の休館日に実施している全館清掃、定期的な空調の清掃など年間計画の通りに実施し、清潔を保持しています。一部の空調機器については、分解清掃を行いました。
- (ウ) 感染症などの対策として、消毒液で手すり等の拭き掃除を実施しました。
引き続き1階通路に消毒液噴霧器を設置し、トイレ利用のお客様にも使用して頂きました。感染症の流行時期には、各トイレ内に手洗い用のペーパータオルを設置し、職員のマスク着用を義務付けました。お食事の提供に際しても、うがい、手洗いの励行、スタッフ研修の実施、殺菌庫や食器洗い機の使用の励行など、感染症の予防対策をしっかりと行いました。
- (エ) 併設の特別養護老人ホームと連携を図り、施設の植木の剪定を実施し、建物の美観を保っています。

イ 効率的な運営への取組について

- (ア) 20か所のケアプラザを運営する法人本部、各事業所と連携を図りながら、必要物品の共同購入、リース業者との契約、職員採用の効率化を図りました。
- (イ) 人員配置基準を遵守するだけでなく、さらにサービスの質の向上を目的とした職員配置を継続し、サービスの質の向上に努めました。

ウ 苦情受付体制について

法人の定める苦情解決規則に則り、地域ケアプラザにおいても苦情解決担当者、苦情解決責任者を設けて、お客様からのご意見、ご要望、苦情等に対応しました。また、法人でも公正・中立な立場からあつせん、調整を行う第三者委員を設置し、苦情の適正な解決に向けて取り組めるような体制を整えております。皆様からお寄せいただいた苦情は毎月、法人本部にてサービス向上委員会を開催し苦情の分析を行い、その結果は所内会議において職員に周知し、再発防止などに活かしています。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- (ア) 緊急時に的確に行動ができるように、継続的に各種マニュアルの見直しを行うとともに、特別避難場所としての職員それぞれの役割がイメージでき、共有できるように事業所全体にしっかりと周知しました。
- (イ) 各種関係機関と連携して実践的な防災訓練の実施、応急備蓄物資の適正な整備管理、整備を行いました。

オ 事故防止への取組について

事業所内での事故防止に関する研修、ヒヤリハット事例の振り返りなどを通じて、全職員が事故予防に対する意識を高めます。事故発生時は速やかに誠意をもって対応します。同じ事故を繰り返さないように、発生後の振り返りをしっかりと行ないました。事故後に決められた予防策については、職員会議の場などで適切な対応であるか振り返りを行いました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

(ア) 定期的な研修の実施、自己チェックの実施、マニュアルの徹底など、万が一にも個人情報に関する事故を起こさない、という意識で事業所内、法人内のルールを遵守しました。

(イ) 個人情報の管理についても、法人で定めているルールを遵守し、郵送物、FAXでのダブルチェック、窓口での持参物チェックなど継続し、事故の発生防止に努めました。

キ 情報公開への取組について

(ア) 法人で定めた情報公開規程に則り、情報開示の申し出があった場合には適正に対応致します。

(イ) ケアプラザでは、ホームページを定期的に更新し、各種事業に関する情報や運営についての情報を公開しています。介護保険事業の記録開示については、申し出があった際に関係機関と連携を図り積極的に迅速に対応致します。

ク 人権啓発への取組について

定期的に行っている法人主催の人権研修へ出席しました。事業所内においては、人権研修の伝達研修以外に、プライバシーの保護、虐待防止に関する研修を行い、所内の全職員に向けて人権啓発の取り組みを行いました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

(ア) 日常的にごみの分別、適正な処分を心がけ削減に努めています。夏季にはクールビズ、冬季にはウォームビズを励行し、省エネルギーに努めていきます。水の使用方法の見直しを行い、節水に努めました。

(イ) 日頃より施設内の不要な照明の消灯を行い節電に努めました。

(ウ) ケアプラザまつりなどイベント開催時には、環境事業推進委員の協力のもと、分別BOXによるごみの収集を行い、地域の皆様にもごみの分別について啓発を行っています。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

兼務	地域包括支援センター	保健師担当看護師	1名
		主任ケアマネジャー	1名
		社会福祉士	1名
兼務	非常勤職員	介護支援専門員	2名

《目標》

- ア. お客様の自立に向けた目標指向型のケアプランを作成します。サービスの導入にあたっては、ご本人に意欲を持って取り組んで頂けるよう実現可能な目標の設定を行い、ご本人とともに振り返りを行います。
- イ. 要支援1・2の既成サービスに該当しない方については、地域包括支援センターや地域活動交流と連携して地域で行っている事業や活動を紹介します。
- ウ. 区役所をはじめとした関係機関や地域住民との連携により、公正中立な立場にたって介護予防ケアプランを作成するとともに、サービス事業所との連絡調整を行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ア. 担当者もしくは居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、通常のサービス提供地域を越えて訪問する際には、交通費の実費をいただくことになっています。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 要支援者・二次予防事業の参加者を対象とした介護予防事業やボランティア講座を実施しました。
- イ. 地域包括支援センター3職種が、それぞれに専門性を持ちながら共通認識を持って対応できるように、所内にて定期的に会議を行いました。また、日常的に情報交換を行い、協力体制を敷いて、個別ケースを多面的、総合的に解決できるように取り組みました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
167	167	168	171	170	163
10月	11月	12月	1月	2月	3月
168	167	164	165	161	161

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

代表者（ケアプラザ所長）	1名
管理者（主任介護支援専門員）	1名
介護支援専門員	3名（常勤） 2名（非常勤）

《目標》

- ア. ケアマネ自身の質の向上に努め、より良いサービスの提供に努めます。
- イ. 公正中立な立場に立ち、総合的かつ効率的サービスの調整に努めます。
- ウ. 地域包括支援センターと連携し、地域ケア会議へも積極的に参加します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

ア. 交通費について

通常の事業実施地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、お客様及びご家族等に対して事前に文書で説明した上で、支払に同意する旨を同文書に署名・捺印して頂きます。
公共交通機関を利用の場合・・・公共交通機関の運賃分

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 『特定事業所加算Ⅲ』を取得した事業所として、週1回会議を開催し、研修・情報交換などを実施しました。個人の研修計画、業務目標を達成できるように積極的に外部研修への参加や情報交換を行い、個々の介護支援専門員の資質の向上に努めました。
- イ. 地域ケアプラザにある居宅介護支援事業所として、困難事例の受け入れ、担当ケースの迅速な対応を心がけています。また、地域包括支援センターと密に連携を図り、より良いサービスの提供のみならず、地域に根差した事業所としての役割を果たしています。

《利用者実績（給付管理）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4	5月	6月	7月	8月	9月
92	92	94	99	103	99
10月	11月	12月	1月	2月	3月
94	96	99	99	98	101

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ア. お客様のニーズに即した通所介護計画書の作成・生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常動作訓練）・介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）・健康状態の確認・送迎・食事・入浴などのサービスを提供しました。また、ご希望に応じて個別機能訓練、口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。
- イ. 通所介護サービス計画は、お客様やご家族の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができることを目的に作成しました。また、計画の作成・評価にあたっては、必要に応じてお客様やご家族への聞き取り、お宅への訪問など状況確認を行いました。
- ウ. サービス提供にあたっては、介護支援専門員や関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。
- エ. サービス提供時間を有効に活用いただけるように、麻雀、書道、絵手紙、カラオケなど、お客様に選択して頂ける少人数対象のプログラムも行いました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分

（要介護1）	704円
（要介護2）	831円
（要介護3）	963円
（要介護4）	1,095円
（要介護5）	1,227円

※2割負担分（対象の方のみ）

（要介護1）	1,407円
（要介護2）	1,622円
（要介護3）	1,926円
（要介護4）	2,189円
（要介護5）	2,453円

イ. 加算

サービス提供体制強化加算（Ⅰ）	口	13円（2割負担分：26円）
入浴加算		54円（2割負担分：108円）
個別機能訓練加算（Ⅱ）		60円（2割負担分：120円）
介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1,000分の40に相当する単位数の料金	

ウ. 食費負担 650円

エ. キャンセル料金 450円（食材料費相当）

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）

※年末年始（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名（常勤兼務3名）
看護職員	4名（機能訓練指導員兼務）
介護職員	26名（常勤1名 常勤兼務3名 非常勤22名）
機能訓練指導員	4名（看護職員兼務）
調理員	6名
ドライバー	4名

《目標》

- ア. 自立支援の観点から、お客様の目的に合わせたサービスを提供します。
- イ. お客様が安全に、リラックスしてお過ごしいただける雰囲気づくりに努めます。
- ウ. お客様やご家族からのご要望には真摯に耳を傾け、信頼関係づくりに努めます。
- エ. 職員、スタッフへの研修を計画的に行い、介護に関する知識や技術の向上に努めます。また、外部研修の受講など自己研鑽を支援します。
- オ. 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との連携を密に図り、お客様・ご家族のニーズにあった適切なサービスを迅速かつ確実に提供できるように努めます。
- カ. 地域活動交流事業との連携により、ボランティアの協力を得て、お客様のニーズに沿ったサービスプログラムを実施します。
- キ. 個人情報の取り扱いに関する手順をしっかりと守り、管理の徹底を行います。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ア. 主な取り組み

- (ア) お客様の能力、生活状況に応じて自立支援の観点から支援を行います。
- (イ) 日常生活上の課題をお持ちのお客様については、ご希望により通常プログラムとは別に機能訓練を行い、定期的な訪問、計画の評価を行いました。
- (ウ) お客様全員を対象に、食前の嚥下体操、食後の口腔ケアをしっかりと行い、口腔内の健康と嚥下能力の維持に努めました。
- (エ) 書道、折り紙、塗り絵、カラオケ、麻雀、脳トレなど、お客様の心身の活性化につながるプログラムをご自身で選択して行って頂きました。
- (オ) 季節感を感じて頂ける年間行事の他、シルバー体操指導員をお招きしてのリハビリ体操、近隣へ外出する戸外機能訓練など、機能訓練の要素を盛り込んだプログラムを実施しました。
- (カ) 演芸グループ、アニマルセラピー、楽器の演奏など様々なボランティアの方々をお招きし、お客様に楽しんで頂きました。
- (キ) 家族会を開催し、お客様のご様子を直接ご覧いただき、プログラム、お食事の紹介を行いました。ご家族同士の交流の場にもなり、通所介護に対する理解を深めて頂きました。

イ. 入浴

- (ア) ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯などのお湯を楽しんで頂きました。
- (イ) お客様の体調にあわせて、大浴槽、小浴槽と湯温の違う2種類の浴槽を用意し、ご利用頂きました。
- (ウ) 入浴用のリフターを使用し、車いすの方でも安心して入浴して頂けるように、対応しました。

ウ. お食事

- (ア) 厨房スタッフが十分に栄養バランスを考えた献立を作成し、手作りで提供しました。また、毎月のテーマを決めて、季節の味覚を取り込んだボリューム満点の美味しいお食事を提供しました。
- (イ) お誕生日週間は、地域の和菓子屋さんへの注文や全国銘菓のお取り寄せを行い、様々な味覚を楽しんで頂きました。
- (ウ) 全てのお客様に美味しく、安全なお食事を提供できるよう、お客様にお食事のアンケートを行いました。毎月の厨房スタッフ会議の中で献立の見直しを行いました。
- (エ) 出張寿司、バイキング食などのイベント食を実施し、皆様からご好評を頂きました。

エ. スタッフ教育

- (ア) ナース会議、スタッフ会議、厨房会議など定期的に会議を実施し、情報の共有とより良いサービスを提供するための話し合いや研修を行いました。
- (イ) スタッフ一人ひとりが自分で考え、行動できるように必要な知識（個人情報保護、接遇マナー、倫理について、事故防止など）や介護技術の向上に関する研修など、年間研修計画を作成の上で実施しました。
- (ウ) お客様のカンファレンスを行い、介護方法の検討、事故防止策などについて話し合いを行いました。

オ. 関係機関・地域連携

- (ア) 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と常に情報交換を行い、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
746	743	748	718	718	685
10月	11月	12月	1月	2月	3月
690	684	637	641	655	708

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ア. 介護予防通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供します。また、ご希望に応じ、運動器機能向上や口腔機能向上のためのプログラムを実施します。
- イ. 介護予防通所介護サービス計画の作成にあたっては、お客様の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう配慮します。
- ウ. サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整と要介護状況の軽減もしくは悪化の防止に努めます。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分

（要支援1）	1, 766円
サービス提供体制強化加算（I）口	52円
（要支援2）	3, 621円
サービス提供体制強化加算（I）口	103円

※2割負担（対象の方のみ）

（要支援1）	3, 531円
サービス提供体制強化加算（I）口	103円
（要支援2）	7, 241円
サービス提供体制強化加算（I）口	206円

イ. 加算

運動器機能向上加算	242円（※2割負担：483円）
口腔機能向上加算	161円（※2割負担：322円）
介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1,000分の40に相当する単位数の料金

ウ. 食費負担

650円

エ. キャンセル料金

450円（食材料費相当）

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）

※年末年始（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名（常勤兼務）
看護職員	4名（非常勤兼務）
介護職員	26名（常勤1名 常勤兼務3名 非常勤22名）
機能訓練指導員	4名（看護職員兼務）
調理員	6名（兼務）
ドライバー	4名（兼務）

《目標》

お客様の心身の特性、生活状況を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した生活を行えるように様々なサービスを提供します。また、サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等の検討により援助方針を決定し、お客様のニーズに合わせた最適の計画を立て、実施いたします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. さらなる個別の対応へ取り組みます。
- イ. お客様の能力、生活状況に応じた自立支援型の援助を行いました。
- ウ. 運動器機能向上計画書をもとに、目標の達成を目指して機能訓練指導員が機能訓練を行い、体力チェック、計画の評価を定期的に行いました。
- エ. 食事には嚥下体操、食後には歯磨き指導を行い、安全に美味しくお食事を召し上がって頂きました。口腔内の健康と嚥下能力の維持のため、口腔ケアは皆様に積極的にお勧めしました。
- オ. 書道、折り紙、塗り絵、通信カラオケ、麻雀、脳トレなど、お客様の心身の活性化につながるプログラムを選択し、実施しました。
- カ. シルバー体操指導員をお招きしてのリハビリ体操、近隣への外出（戸外機能訓練）など機能訓練の要素を盛り込んだプログラムを実施しました。また、初詣、盆踊り運動会など、季節を感じ楽しんでいただける行事も実施しました。
- キ. 入浴はゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂き、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯等を楽しんで頂きました。大浴槽、小浴槽と湯温の違う2種類の浴槽を用意し、体調に合わせてご利用いただきました。
- ク. 食事
 - (ア) 厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成しました。また、毎月のテーマを決めて、季節の味覚を盛り込んだボリューム満点の手作りのお料理を提供しました。お客様からは好評を頂いています。
 - (イ) お誕生日週間は、おやつを近隣の和菓子屋さんへの注文したり、全国銘菓を取り寄せ、バラエティ豊かな味を楽しんで頂きました。
 - (ウ) 毎月厨房スタッフとの会議を行い、細かくメニューの見直しを行っています。これからも全てのお客様に美味しいと言ってもらえるように日々精進します。
- ケ. スタッフ教育
 - (ア) ナース会議、スタッフ会議、厨房会議、ドライバー会議を定期的を実施し、情報を共有するとともにより良いサービスを提供するために話し合いを行っています。
 - (イ) 職員間で「報告・連絡・相談」を心掛け、連携の取れたきめ細かいサービス提供に努めます。
 - (ウ) スタッフ一人ひとりが自分で考え、行動できるように必要な知識（個人情報保護、接遇マナー、倫理について、事故防止など）や介護技術の向上のための研修、自主勉強会を年間研修計画作成の上で計画的に実施しました。必要に応じて、お客様の個別カンファレンスも実施しました。
- コ. 関係機関・地域連携

お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と積極的に連携を図りました。また、利用申し込みに関しても、スムーズにサービス開始ができるように迅速な対応を心がけました。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
37	32	47	41	48	38
10月	11月	12月	1月	2月	3月
41	47	38	47	54	60

(4) 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ア. 認知症対応型通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認、送迎、食事、入浴についてのサービスを提供します。また、ご希望に応じて、個別機能の向上や口腔機能向上のプログラムを実施します。お客様の生活状況などを踏まえて、お一人ずつオリジナルのプログラムを行います。
- イ. 認知症対応型通所介護計画の作成にあたっては、要介護状態の維持・改善を目的に目標の設定をします。お客様のご希望を尊重し、心身の状況や生活全般の環境に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう支援します。そのため、ご家庭での生活に役に立ちそうな情報、ご家族の介護負担の軽減につながりそうな情報など、デイサービスでの様子を詳しくお知らせをしながら、必要に応じてお客様やご家族様からお話を伺い、よりよいサービス提供に役立てます。
- ウ. サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図ります。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分

(要介護1)	1, 072円
(要介護2)	1, 188円
(要介護3)	1, 305円
(要介護4)	1, 422円
(要介護5)	1, 539円

2割負担（※対象の方のみ）

(要介護1)	2, 144円
(要介護2)	2, 376円
(要介護3)	2, 609円
(要介護4)	2, 844円
(要介護5)	3, 077円

イ. 加算

	(1割負担分)	(※2割負担)
入浴加算	55円	109円
個別機能訓練加算	30円	59円
口腔機能向上加算	164円	327円
若年性認知症利用者受入加算	66円	131円
サービス提供体制強化加算(Ⅰ) □	7円	13円
送迎減算(片道)	-52円	-103円
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	1か月のご利用単位数の1,000分の68に相当する単位数の料金	

ウ. 食費負担 650円

エ. キャンセル料 450円（食材料費相当）

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）
（年末年始（12月29日～1月3日）を除く。）

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	4名
看護職員	4名（兼務6名）
介護職員	21名（常勤兼務1名非常勤兼務20名）
機能訓練指導員	4名（看護職員兼務）
調理員	6名（兼務）
ドライバー	4名（兼務）

《目標に対する取組状況》

お客様の心身の特性や生活状況を踏まえ、自立支援、介護者の介護負担の軽減などの観点からサービス提供を心がけました。サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等の検討により対応方針を細かく決定した上で行うこととし、ご利用の際の様子など細かな報告と共に説明しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ア. さらなる取組み

- (ア) アットホームな雰囲気の中で穏やかに過ごして頂けるように、曜日ごとに経験あるスタッフを固定で配置しました。
- (イ) 個別機能訓練は計画書をもとに、お客様一人ずつの目標達成を目指して機能訓練指導員が個別に機能訓練を行いました。
- (ウ) 安全に美味しくお食事を召し上がって頂けるように、食前には職員による嚥下体操、食後には歯磨き指導を行いました。
- (エ) 家族会、運営推進会議を開催し、デイサービスの運営状況やお客様のお過ごしの様子をご覧いただき、プログラム、お食事の紹介を行いました。認知症対応型通所介護に対する理解を深めて頂く貴重な機会となりました。

イ. プログラム

- (ア) 脳トレ、書道、折り紙、塗り絵など、お客様の心身の活性化につながるプログラムを充実させ、お客様に選択して頂きました。
- (イ) お客様個人の目標に合わせて外出（戸外機能訓練）や季節感を取り入れた行事など、機能訓練の要素を盛り込んだプログラムの提供を行いました。

ウ. 入浴

- (ア) ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事としても、しょうぶ湯、ゆず湯等楽しんで頂きました。
- (イ) 入浴の際は、一人ずつスタッフが付き添いで誘導を行い、安全には十分に配慮しました。細かいご様子の変化にもきめ細やかに対応しました。
- (ウ) 入浴用のリフターを使用し、車いすの方に安心して入浴して頂きました。

エ. 食事

- (ア) スタッフが十分に栄養バランスを考えた献立を作成しています。毎月のテーマを決めて、季節の味覚を取り入れ手作りでボリューム満点の美味しい食事を提供しました。
- (イ) 誕生日週間は、おやつに近隣の和菓子屋さんへの注文や全国銘菓のお取り寄せなど、ひと味違う味覚を楽しんで頂きました。
- (ウ) 出張寿司、バイキング食などのイベント食を実施し、ご好評頂きました。

オ. スタッフ教育

- (ア) 定期的に、スタッフ会議を実施し、情報を共有するとともにより良いサービスを提供するために話し合いや研修を実施しました。
- (イ) 全員が「報告・連絡・相談」を意識して業務にあたり、よりよいチームワークから、よりよいサービスを提供を心がけました。
- (ウ) スタッフ一人ひとりが必要な知識や介護技術の向上のための研修を、年間研修計画を作成のうえ、計画的に実施しました。

カ. 関係機関・地域連携

- (ア) 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を密に図り、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
214	223	197	208	192	200
10月	11月	12月	1月	2月	3月
197	190	182	161	165	188

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ア. 障害のある方の単独相談は殆どありませんでした。高齢者と障害のあるこどもとの同居ケースについての相談が多く、その都度区や関係機関と連携を図り、支援者ネットワーク構築によって個別支援を行いました。
- イ. 子育てに関する相談については、主に子育て事業の参加者から受けました。また、子育てに関しては身近な相談先と見込まれる民生委員を対象とした「ダブルケア」の講座を区内社福士で共催し、子育て世帯が抱える可能性のある状況について周知しました。
- ウ. サロンや出張講座・地区会議にて、高齢者に限らず、障害のある方・こどもに関する相談も受け付けていることを毎回周知しました。
- エ. 月平均 90 件の相談を受け付け、その情報を町別項目別に分析し、地域特性把握や地域課題抽出に活用しています。また 5 職種と情報共有し、事業展開やボランティア活動支援を行っています。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ア. 高齢化率の高い地域での総合相談の特徴（本人からの相談無、支援者からの相談多）等、データから把握した地域課題を 5 職種で共有し、該当地区のふれあい会などの地域支援者と情報共有を行いました。データと実態の両面から地域を把握することで、より課題に適した支援策を藤棚らいぶステーション・紅梅カフェにて検討・実施しました。
- イ. 毎月 5 職種会議を開催し、包括で得た地域のデータと各 CO が把握した実態を情報共有しながら、支援の優先順位を設定しました。そこから社会資源の情報収集と地域課題の抽出を行い、不足している支援の把握と支援の具体策を検討しました。
- ウ. 5 職種連携して包括レベル地域ケア会議を開催し、伊勢四自治会住民と共に地域課題を共有しました。
- エ. 総合相談にて把握した軽度認知症高齢者を共催事業や地域交流主催事業に誘い、本人の居場所作り及び地域住民との関りを支援するなど、個別課題の解決に繋げました。

3 職員体制・育成

- ア. 資格要件については、更新時に写しの提出を義務付け、簡易確認用に一覧表を作成、更新しています。
- イ. 個々のスキルアップに向け研修の受講を励行し、積極的に情報提供を行い、内部・外部研修を受講してもらっています。特に重要な個人情報、感染症などについては、所内で伝達研修を実施しています。個人情報の取り扱いは、法人全体で定められた基本ルールを遵守しつつ、所内でスムーズに実施できるように様式・実施ルールの見直しを行いました。
- ウ. 公正・中立については、法人の担当職種の会議、行政からの通知文の回覧など、意識を継続するために様々な場面で確認をしています。事業所選定状況は、法人が作成する毎月の実績値で確認を行っています。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ア. 民生委員児童委員協議会、連合自治会町内会、地区社会福祉協議会の会合には定期的に参加し、地域支援者との連携を図ることで円滑な地域支援を行いました。
- イ. 地域課題の解決に向けて関係機関との連携を図り、各種団体との共催による事業を実施しました。
- ウ. ケアプラザまつりや異世代交流会、ボランティア交流会&感謝会などを通して、関係機関をはじめ、地域住民、地域団体、障害者施設、貸室利用団体の繋がり機会の充実を図り、福祉保健活動の推進に取り組みました。

5 区行政との協働

- ア. 第3期地域福祉保健計画の推進に向け、地区別計画では地域支援チームとして地区別懇談会等を通して目標の達成、行動計画の実行に向けて、区役所、区社会福祉協議会との連携を強化し支援しています。また、全体計画においてはケアプラザ連絡会や各職種連絡会、にこまちスタートアップ講座等で情報の共有、地域課題の解決に向けて取り組んでいます。NVC（にこまちボランティアキャンプ）では、活動の活性化や団体間の繋がりづくりを目的として、区役所、関係機関と協働でボランティア団体探検ツアーを実施しました。
生活支援体制整備事業の推進に向け、区役所、区社会福祉協議会と連携して取り組み、地域情報の共有、地域への発信を行いました。
- イ. ケアプラザまつりや異世代交流会、ボランティア交流会&感謝会などを通して、地域住民、地域団体、障害者施設、貸室利用団体の繋がり機会の充実を図り、「にこまちなうた」の普及など福祉保健活動の推進に取り組みました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ア. 地域団体と連携を深め、地域課題、社会資源等の情報収集に努めました。また、地域団体が運営する子育て支援事業、高齢者サロン、会食会等に出向き、活動状況を把握するとともに啓発、情報提供を行い必要に応じて関係機関に繋がりました。
- イ. 自主事業参加者、貸室利用団体を対象に利用者アンケートを実施し、ニーズの把握、課題の抽出を行い、改善策を検討しました。
- ウ. 地域版広報紙「とべとべ通信」を発行し（4/年）、ケアプラザ及び地域包括支援センターの機能、生活支援体制整備事業の周知をしました。また、福祉保健の情報を提供するほか、地域活動を掲載し社会資源の周知、啓発を行いました。また、区の広報、掲示板、ホームページ（ケアプラザ、e ネット探検隊）、チラシ等で事業の周知を行い地域に発信しました。平成27年度より、地域の朝日新聞専売店の協力を経て、ケアプラザ事業のチラシを折り込み広告に掲載し、毎月3100部を配布しています。また、今年度はみなとみらい秋まつりにおいてケアプラザの機能や自主事業の案内チラシを配布しました。住民の協力によりみなとみらい地区全戸（3300部）にポストイングしました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ア. 諸室の安全・衛生を保ち、快適な場の提供を行うため、調理器具、清掃用具、音響機器等備品の整備を行いました。また、稼働率向上のために空き室情報をホームページに掲載し広く情報を提供し効果を上げています。
地域ケアプラザ施設利用マニュアル改定に伴う、団体の利用登録更新にあたり、個別にわかりやすい説明をするとともに地域における福祉・保健活動の振興を図るよう働きかけをしました。
- イ. 既存の活動団体や自主事業から発展し自主化した団体には福祉活動の機会を提供し、

継続的な活動の支援をしています。ケアプラザまつりの模擬店出店や異世代交流会、高齢者支援事業、子育て支援事業、障害者支援事業などの自主事業への協力のほか、施設や地域団体への協力等、福祉活動となる機会を提供し支援しました。また、人員の減少により活動が低迷している団体への支援として、区社会福祉協議会と協働で「ハマのオヤジゼミナール」を実施し、新規参加者を募り活動の活性化を図りました。

3 自主企画事業

地域ニーズをふまえ、エビデンスに基づいた事業展開するよう努めました。

ア. 高齢者支援

地域包括支援センター、生活支援コーディネーターと連携し、高齢者の居場所づくりや交流、介護予防の事業を継続して実施しました。また、中高年からの介護予防・体力維持向上、仲間づくりを目的とした事業の実施や地域での事業展開などで事業参加者の拡充に努めました。また、継続していた自主事業「ゆっくりフラダンスロケラニ」は住民主体の自主的な活動を推進するため、今年度をもって自主化といたしました。

イ. 子育て支援

第1子の出生率が高い西区の現状をふまえ、乳幼児親子の仲間づくりや不安・ストレスの解消を目的に0歳児親子を対象とした事業を継続して実施しました。未就園児親子を対象にした事業では、子育て支援拠点「スマイルポート」と連携し、情報提供・情報共有を行っています。

また乳幼児養育者への啓発として西消防署と連携した「パパとママのための救急講座」「父親ならではの絵本の読み聞かせ&父親育児」「パパと遊ぼう」「ハロウィン親子コンサート」など父親支援の事業を実施し、乳幼児父親間の交流に効果がありました。

ウ. 障害児者支援事業

西区自立支援協議会と協働で余暇支援事業に取り組みました。また、西区高齢・障害支援課障害担当、地域活動ホーム「ガッツ・びーと西」と連携し障害のある未就園児の親子を対象にした事業（○△□）を継続して実施し、親子の繋がりづくりをしました。聴覚障害者団体の高齢者に介護予防体操の普及啓発を行いました。また、地域障害者施設と連携し自主事業「コミュニティキッチン5」「おやじの時間」「ケアプラザ祭り」などで障害者理解、地域住民と障害者との交流を図りました。

エ. 人材育成

介護予防ボランティア講座から自主化したグループ「フルーツばすけっと」を継続して後方支援しています。子育て支援事業や地域子育てサロン、西区自立支援協議会余暇支援事業のほか、保育園、わたぼうしカフェ（認知症カフェ）へ手作り品を提供し福祉活動に発展しています。また、自主事業の協力者として参加者に声かけをして積極的に運営の担い手となるよう働きかけをしました。（手芸の指導、和菓子の製作など）

区社会福祉協議会と協働で「ハマのオヤジゼミナール」を実施し、趣味を通じた社会資源の発掘に努めました。

オ. 地域住民の交流

ケアプラザ祭りや異世代交流事業、コンサートを継続して実施しました。

次世代を担う団塊の世代の仲間づくり、地域デビューを目標としたアクティブシニア対象の事業（料理、ウォーキング、音楽）を継続して実施し、繋がりづくりに効果がありました。また、西区4ケアプラザ共催事業「けあぶらっと歩こう1万歩」を継続して実施し、中高年層に発信しています。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ア. 自主事業から自主化したグループ「フルーツばすけっと」を継続して支援し、自主事業や保育園、障害者施設、地域団体への協力など活動の場を提供し福祉活動を継続・発展させています。また、貸室利用団体等、既存の活動団体に自主事業での協力など活動の場を提供し、福祉活動に繋がるよう支援しました。
- イ. 「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」を実施し（4回）、高齢者のボランティア活動推進に努めました。今年度は18名の登録がありました。
- ウ. 団塊世代を対象とした自主事業の参加者に福祉活動の啓発をして新しい人材の発掘に取り組んでいます。「アクティブシニアのはりきりクッキング」の参加者は異世代交流会の担い手としてカレー作りを行いました。また、障害児者余暇支援事業に協力し調理を担当しました。
- エ. ボランティア感謝会 & 交流会を開催し、ボランティア活動の意欲向上、ボランティア間の交流、ネットワークづくりを行いました。
- オ. 西区ボランティアセンターと連携し、ボランティアの調整を行い、活動の場を提供しました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ア. みなとみらい地区「みなとみらい秋まつり」に初出店し、出張相談にて介護保険および介護についての相談を受け付けました。また、フォレシスコミュニティと連携し、地域課題であった定期出張相談会の開催が始まりました。
- イ. 藤棚らいぶステーションにて隔月での出張相談会に併せて介護予防講座を開催し、相談会の周知と地域高齢者の把握に努めました。
- ウ. 総合相談票の情報を町別にグラフ集計し、地域特性を分析しました。そこから5職種会議にて町別高齢者支援について検討し、民生委員との情報共有や地域サロン等での地域支援者との関係構築等を行いました。
- エ. 月平均90件の相談を受け付け、その情報を町別項目別に分析し、地域特性把握や地域課題抽出に活用しています。また5職種で情報共有し、事業展開やボランティア活動支援を行っています。

地域包括支援ネットワークの構築

- ア. 包括レベル地域ケア会議を開催し、伊勢四自治会の地域支援者ネットワークの整理・把握と地域課題の抽出及び情報共有を行いました。そこから個別ケースの相談・支援に繋がりました。
- イ. 5職種にて集約した地域資源情報を統一した書式に整理・管理し、相談来所者へのスムーズな情報提供を行っています。
- ウ. 地域での会合（自治会役員会・交流会・サロン・各種打ち合わせ）の参加記録を所内にて回覧及びファイル管理し、情報共有を行っています。また、地域アセスメントシートに情報を集約し、地域ニーズの把握、出張講座や出張相談等の事業開催に繋がりました。

実態把握

- ア. 地域データや総合相談票、事業開催やサロン訪問等で得た情報を地域アセスメントシートに落とし込み、連合別及び町内会別情報を総合的に把握しました。また、その情報を元に各専門的視点からの地域分析を5職種会議にて共有し、地域課題の抽出を行いました。
- イ. 5職種で集約した情報をわかりやすく共有できるよう、統一した書式で整理及び管理しました。

2 権利擁護

権利擁護

- ア. 区内4ケアプラザ共催にて地域住民を対象とした「相続・遺言・成年後見制度」を開催しました。弁護士へ講師を依頼し、制度の普及啓発と専門職種との橋渡しを行いました。
- イ. 区内社福士共催にて「ダブルケア」講座を開催しました。地域に潜在する支援の必要なダブルケアラーへの理解と支援について、主に地域支援者を対象とした周知の機会を提供しました。
- ウ. 成年後見制度の必要な認知症独居高齢者2ケースにおいて、制度利用の説明・専門職種への橋渡し等の親族申し立て支援を行いました。その際はケアマネジャー、民生委員、区、金融機関と連携を図り、制度周知と顔の見える関係作りに努めました。
- エ. 司法書士等の他専門職種へ依頼し、社会福祉士会議にて権利擁護に関する制度等について学ぶなど、区内全体の専門職知識習得に努めました。
- オ. 特に詐欺被害の多い地域において、地域支援者へ被害の実態や防止の必要性について情報提供を行いました。

高齢者虐待

- ア. ケアマネジャーからの虐待事例の相談を迅速に区へ報告し、訪問同行、支援策の検討を早急に検討するなど、虐待事例の早期把握及び解決を支援しました。
- イ. 2箇所の介護保険サービス事業所で高齢者虐待研修を実施し、早期発見・早期解決の重要性と虐待への気づき、家族支援など虐待防止の啓発活動を積極的に行いました。
- ウ. 介護者の集いを開催し、また認知症カフェの周知及び運営を支援することで、家族の介護負担軽減に努めました。

認知症

- ア. 認知症サポーター養成講座をキャラバンメイトと協力して企業にて開催しました。
- イ. にしとも広場にて開催の認知症サポーター養成講座にアドバイザーとして参加し、参加者を認知症カフェへ繋げる、相談先として他地区包括を紹介する等介護者支援を行いました。
- ウ. 個別ケース地域ケア会議を開催し、認知症高齢者住民への理解と支援について地域支援者と情報共有を行いました。また、徘徊高齢者についてコンビニとの連携作りに努めました。
- エ. わたぼうしカフェに後方支援として毎回参加し、権利擁護の助言や制度案内、施設入所相談、認知症への理解など、介護者支援を行いました。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ア. 地域が実施している介護予防に関する事業の把握を行いました。また、ケアプラザの自主事業のチラシをケアマネジャーへ配布し情報提供をしました。
- イ. サービス担当者会議等に参加し、介護予防サービス計画書にインフォーマルの情報の記載の助言をしました。12月現在で8名、自立生活を回復し、介護保険サービスを利用せず終了になりました。
- ウ. 区内包括共催にて、介護予防サービス事業に関する研修を2回開催し、ケアマネジャーへ介護予防への積極的な取組を支援しました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ア. 地域へ積極的に向き、介護保険制度、ケアマネジャーの役割等を周知し、関係機関との連携強化を図りました。
- イ. 関係機関との連携における課題や、ニーズ把握に関しては地域ケア会議を開催し、解決方法や連携ができるような取り組みを行いました。
- ウ. ケアマネジャーが民生委員、介護保険サービス事業者とネットワーク構築ができる取組を積極的に行いました。今年度は災害をテーマに、自分たちに何ができるのかを考えることができるよう研修をしました。また、インフォーマルサービスとしての回想法の資源開発の取組を行いました。

医療・介護の連携推進支援

- ア. 医療、介護の連携の為にケアマネサロンにて連携強化ができる話し合いの場を設け、共通認識が持てる取り組みを行いました。また、連携の際に活用できる統一シートを現在作成中です。
- イ. 在宅医療相談室との更なる連携強化を継続して行います。
- ウ. 薬剤師会に協力を依頼し、ケアマネジャーが正しい薬の知識を理解できるようなケアマネサロンでの研修を企画・開催しました。薬剤師会で作成する地域情報の冊子作りに、戸部本町エリア情報を提供するなど、連携・協力をしました。

ケアマネジャー支援

- ア. ケアマネジャーからの相談は、問題が深刻化する前より関わりが持てるよう、日ごろより気軽に相談できる信頼関係を構築しています。課題の多いケースの支援は、継続的・丁寧な支援を行っています。
- イ. ケアマネサロンは、内容や企画を工夫し、毎回、多くの参加者が得られる充実したものとなっています。ケアマネジャーの資質向上等の支援が図れています。
- ウ. 新人ケアマネ研修は今年度 29 年 1 月に開催しました。
- エ. ケアマネ研究会の支援を継続し、ケアマネジャーのニーズを常に把握し、ネットワーク作りの支援を行ってきました。今年度は特に、運動会、研修会において多職種が参加できるよう企画し、ケアマネジャーとの連携が図れるよう実施しました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ア. 地域課題解決の為に地域ケア会議は、多職種からの参加を得ました。意見交換をすることで、お互いの役割の再確認を行いました。また今年度は、後方支援を行っている“認知症カフェ”から見えてきた地域課題を多職種にて検討しました。意見交換により、相互理解が深まる支援を行っています。
- イ. 5 職種会議を毎月開催し、地域分析しながら地域課題を検討し、資源開発などの取組を行っています。
- ウ. 地域ケア会議後の振り返りは、ネットワーク構築に必要な為、継続して行ってきました。

地域交流・包括

介護予防事業

- ア. 元気づくりステーション「楽しく明るく元気サロン」は関係者と協力し後方支援に努めました。PT等の専門職派遣を実施し、会にあった体操の助言を受けた事やロコモ度測定会を1回実施しました。
- イ. 地域やマンション単位で実施中のサロンの活動状況を把握をし、認知症・口腔ケア・ロコモ度測定会等を実施し介護予防の普及、啓発に努めました。
- ウ. 自主事業の中でボランティアの希望があり、介護予防講座で参加者の誘導やロコモ度チェック等お手伝いをしていただきました。

生活支援・地域交流・包括

生活支援体制整備

ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成
ア. 地域の行事や会議に積極的に向き、自治会町内会、民生委員、地区社会福祉協議会の役割や活動をアセスメントシートや報告書に入力し、地域のニーズ、現状把握に取り組みました。また、その情報を5職種会議にて共有し、地域支援に結びました。 イ. 高齢者の見守りや生活支援に協力している企業へのヒアリングを行いました。地区別、町別の高齢化や介護認定率をグラフ化し、5職種にて分析を行いました。

圏域レベルの協議体の設置・開催
区役所、区社会福祉協議会の支援のもとケアプラザ内で連携し、地区単位での協議体の計画、開催を行いました。また、それを基盤に分科会を設置した地区においては、各分科会への支援を行いました。

圏域レベルの目標・取組事項の設定
ア. 人口比率・高齢化率・介護認定率の統計や地域の地理的特性を知るとともに行事に参加し、担い手や地域住民からの情報収集を行い、地域ごとのニーズ、課題を抽出し、取組事項の設定をおこないました。 イ. 地域住民に生活支援体制整備事業と生活支援コーディネーターの役割を認識してもらえよう、民生委員児童委員協議会・シニアクラブ・自治会町内会に出席、意見交換を行います。

具体的な取組事項への着手
ア. 毎月ケアプラザ内で5職種会議を開催し、高齢化率の高い地域への支援、出前講座の取組についての意見交換、開催をしました。 イ. ボランティア活動に参加し支援される側とする側の把握を行いました。 ウ. 地域行事に積極的に参加し、報告書を作成・情報の共有を行いました。地域ごとの課題の抽出を行いました。

その他

長年、連携困難であったみなとみらい地区の4タワーマンションと、「みなとみらい秋まつり」への出店を機に出張相談会を定期開催できるようになりました。住民の高齢化や実際に介護保険などの公的サービス利用者が増えていること、地域との繋がりの希薄な高齢者の居場所確保といった課題を、自治会やコミュニティ組織が認識し始めたことが大きいようです。何年もかけて、細々と関係作りを働きかけてきたケアプラザの地道な活動が、ようやくこうした事業開催に繋がることができました。今年度は1箇所との連携実現ですが、引き続き他の場所でも開催できるよう、引き続き関係構築に努めます。
--

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 戸部本町地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	15,720	23,572	151						5,789
	介護保険収入				5,718	19,299	87,284	1,509	38,242	
	その他 雑収入	543	26				822			
	介護予防ケアマネジメント費				3,472					
	認定調査					433				
	原案作成委託料				53					
	研修費収入		80							
収入合計(A)	16,263	23,678	151	9,243	19,732	88,106	1,509	38,242	5,789	
支出	人件費	12,074	23,374		1,519	19,522	56,531		19,579	3,655
	事務費	1,482	2,039		5,131	1,661	5,388		2,099	88
	事業費	1,562	333	151		93	6,069		2,080	170
	管理費	5,630	1,495				6,970		1,993	
	その他									
	施設使用料相当額									
	雑支出						455		64	
支出合計(B)	20,748	27,241	151	6,650	21,276	75,413		25,815	3,913	
収支 (A) - (B)	-4,485	-3,563	0	2,593	-1,544	14,202		12,427	1,876	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載してください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防コーラス「にこにこ隊」	目的：交流の場の提供、仲間づくり、介護予防 内容：介護予防コーラス（唱歌・動揺等）	毎月第2・4 月曜日 (全22回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやじの時間	目的：地域の男性の仲間づくり、介護予防、ボランティア育成 内容：中高年の男性の居場所づくり、介護予防	毎月第4火曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遅起きラジオ体操in石崎川公園	目的：異世代交流、介護予防、健康保持と増進 内容：石崎川公園にてラジオ体操を実施	毎週土曜日 (全45回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防コーラス『歌の広場』	目的：介護予防・仲間づくり・交流の場の提供 内容：介護予防コーラス（童謡・唱歌など）	毎月第3火曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よろず相談会	目的：健康・介護等の出張相談。ケアプラザの周知 内容：藤棚らいぶステーションでの出張相談会（6回）と地域のお祭りなどでの健康相談の実施。	全8回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉用具相談 ・展示事業 「転ばぬ先の杖」	目的：効果的に福祉用具を利用することにより、介護予防に繋げる。福祉用具相談の充実を図る。 内容：福祉機器の展示・相談・紹介	全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ノルディック ウォーキングin みなとみらい	目的：みなとみらい地区での介護予防・健康増進・住民同士の交流 内容：ノルディックウォーキング	毎月第2・4土曜日 (全16回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	目的：認知症の理解と啓発・ケアプラザの周知・認知症サポーターの育成 内容：地域住民向け・友愛会のメンバー向けに認知症の理解や啓発の為の講座	全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遅起きラジオ体操inみなとみらい	目的：健康増進・介護予防・異世代交流・ケアプラザの周知 内容：高島中央公園でのラジオ体操	毎月第1日曜日 (全9回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
回想法勉強会	目的：ボランティアの育成 内容：回想法実施による勉強会	毎月1回 (全12回)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	目的・エリアのケアマネジャーの質の向上、スキルアップ 内容・ケアマネジャーへの研修会の開催、企画、運営	全9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	目的：介護予防・権利擁護啓発・ケアプラザの周知・関係機関との連携強化 内容：地区社協食事会・老人会・ふれあい会などに出向き介護予防や権利擁護・認知症等についての講話や体操・レクリエーションの実施	全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わたぼうしかフェ 認知症カフェ支援	目的：認知症啓発・認知症の方と家族の支援 内容：西区在宅介護者の会「あけぼの会」が主催するわたぼうしかフェの後方支援にて、個別相談や地域情報提供のために対応する	毎月第3土曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション「楽しく明るく元気サロン」	目的：地域（西前小コミュニティハウス）での介護予防。 内容：後方支援（長期欠席者の把握等）	毎月第1・3木曜日 (全24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーションに類する活動「元気サロン」	目的：地域（戸部コミュニティハウス）での介護予防。 内容：後方支援（部員募集、長期欠席者の把握等）	毎月第1・3木曜日 (全22回)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族介護者の集い	目的：家族介護者の負担軽減 内容：西区在宅介護者の会「あけぼの会」と連携し、家族介護者同士の交流及びレスパイト	全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区社会福祉士「権利擁護」共催事業	目的：虐待の早期発見・予防の啓発 内容：事業所や企業へ出前にて虐待予防の講座を実施する	全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講座 はじめの一步を始める前に	目的：福祉活動の啓発・人材育成・よこはまシニアボランティアポイントの普及 内容：ボランティア講座・ボランティアの活動紹介・よこはまシニアボランティアポイント登録説明会	全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで遊ぼう	目的：子育て支援・乳幼児親子の交流の場の提供 情報提供 内容：プレイルームの解放、ミニ企画の実施（リトミック、体操プログラムなど）	毎月第2・4木曜日 (全21回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆっくりフラダンス ロケラニ	目的：ケアプラザの周知・ニーズ把握・介護予防 内容：フラダンスを通しての介護予防	毎月第1・3水曜日 (全22回)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コミュニティーキッチン5	目的：異世代交流 障がい者理解 内容：支え合い連絡会から発展した異世代交流会（会食会）	平成28年8月25日 （全1回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく健康ストレッチ	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：ストレッチ体操	毎月第1・3金曜日 （全17回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手打ちうどんを作ろう	目的：交流の場の提供・仲間づくり 福祉活動団体の活動の場の提供 内容：手打ちうどん作りと試食	平成29年2月25日 （全1回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第14回戸部本町地域ケアプラザまつり	目的：交流の場の提供・ボランティアの育成・各団体の交流支援 内容：模擬店・演技発表・健康づくりコーナー・こども交流コーナー など	平成28年11月27日 （全1回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会&交流会	目的：ボランティアニーズの把握・交流の場の提供 仲間作り支援 内容：ケアプラザにボランティア登録してくださっている方々を対象とした会食・交流会	平成29年3月5日 （全1回）

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
西区自立支援協議会 障がい児者余暇支援事業	目的：障がい児者余暇支援 ボランティアや地域の方々と共に様々な経験する 内容：夏まつり・餅つきの実施	平成28年7月30日 平成29年1月29日 (全2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児余暇支援 ○△□	目的：障がい児や病気のある未就学児親子の仲間づくり。 情報交換・情報提供。関係機関との連携。 内容：西区役所・ガッツビーと西と共催にて実施。親子の遊び場と交流、情報提供	平成28年5月21日・ 10月15日 (全2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママ友倶楽部	目的：0歳児養育者を対象にした子育て支援 地域住民の交流、仲間づくり。 内容：ベビーマッサージ 産後ママのボディシェイプ	毎月第1・3火曜日 (全15回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はり切りカフェ	目的：高齢者の閉じこもり防止し外出の機会を提供する。 脳の活性化、介護予防。 地域住民の交流、仲間づくり。 内容：高齢者が交流を図りながら手芸等で手指を使い介護予防をするサロン。個別相談等に対応する機会の提供	毎月第2水曜日 (全21回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパとママのための救急講座	目的：乳幼児養育者への情報提供 内容：西消防署と共催事業。講師を招き、情報提供	平成28年10月29日 (全1回)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わいわいクラブ 初夏のコンサート	目的：音楽を通しての地域住民交流・高齢者の外出の場・ケアプラザ周知 内容：早稲田大学OBわいわいクラブによる男性合唱団コンサート	平成28年7月25日 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のチャレンジ塾①～④	目的：中高年の仲間づくり、ケアプラザ周知 内容：ブリザーブドフレーム ハーブオイル みそづくりほか	全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパならではの絵本の読み聞かせ&父親育児	目的：父親の育児支援 仲間作り 内容：父親ならではの絵本の読み聞かせの仲間づくり 父親	平成28年9月3日 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レッツ・シング	目的：中高年の仲間づくり・生きがいつくり・ケアプラザの周知・新規事業参加者の獲得 内容：ゴスペルを通して地域住民の交流を図り、ストレスの解消	第2・4水曜日 (全24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アクティブシニアのはりきりクッキング	目的：団塊世代の仲間づくり、地域デビュー 備えておくべき知識の学習 内容：地域講座、健康づくり講座、調理、ボランティア講座	第4水曜日 (全15回)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
すいせん茶寮	目的：主に要支援者の居場所づくり サービス利用のない高齢者の介護予防 内容：会食 体操 書道 ゲーム	第2水曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アクティブシニアの鎌倉ハイキング	目的：中高年の仲間作り・生きがいつくり ケアプラザの周知 新規事業参加の獲得 内容：鎌倉散策 健康づくりと交流を図る	平成28年5月10日・12月2日 (全2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
浜ろう高齢者部介護予防体操	目的：障害者支援 介護予防の啓発 内容：貸室利用団体である浜ろう高齢者親睦会と共催で、聴覚障害の高齢者を対象に介護予防体操をする	全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアふらっと歩こう一万歩	目的：健康づくり 団塊世代への発信 内容：地域福祉保健計画の推進 健康スタンプラリー ウォーキングポイント事業の推進	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アクティブシニアのMucicHouse	目的：中高年の仲間作り・生きがいつくり ケアプラザの周知 新規事業参加の獲得 内容：団塊世代の音楽を通じた交流 楽器の演奏 ほか	毎月第1土曜日 (全12回)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
昼間のお月見	目的：高齢者の居場所づくり、外出の機会提供 内容：大型スクリーンを見ながら野だて風にお菓子と抹茶をいただく	平成29年9月21日 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援講座 「小児科を受診する前に大人が知ること、できること」	目的：乳幼児養育者を対象に医者のかかり方を学ぶ 内容：小児科医による講演会	平成29年7月9・26日 (全2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハマのオヤジゼミナール「素敵写真を撮るための目からウロコの話」	目的：中高年新規事業参加者の拡充 既存自主グループの活性化 内容：デジカメの基本操作を学ぶ 共催：西区社会福祉協議会	平成29年3月9・16・23日 (全3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハロウィン親子コンサート	目的：音楽を通じた乳幼児親子の交流 内容：親子コンサート 子育て中の母親たちによる団体、フルールのコーラス	平成28年10月31日 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みなとみらい秋まつり「出張相談会」	目的：総合相談 ケアプラザ周知 みなとみらい地区との連携 内容：みなとみらい秋まつりでブースを設け出張相談 ケアプラザ機能、自主事業のチラシ配布	平成28年10月29日 (全1回)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域介護予防活動支援「西区介護予防講座2016 きちんとラジオ体操」	目的：介護予防、ボランティア育成とフォローアップ 内容：ラジオ体操指導員による正しいラジオ体操の仕方	平成28年5月30日 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域介護予防活動支援「西区介護予防講座2016 アロマで脳トレin西前小コミハ」	目的：認知症予防、地域のボランティア育成とフォローアップ 内容：アロマセラピストによるアロマオイルを用い嗅神経を意識した脳トレーニング	平成28年6月 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域介護予防活動支援「西区介護予防講座2016 お口の健口講座in西前小コミハ」	目的：介護予防、地域のボランティア育成とフォローアップ 内容：歯科衛生士による口腔体操、唾液の促し方、ブラッシングの仕方	平成28年9月 (全1回)

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護予防コーラス 「にこにこ隊」	高齢者	22,272	22,272	0	22,272	0	0
	322名						
	なし						
介護予防コーラス 「歌の広場」	高齢者	22,272	22,272	0	22,272	0	0
	167名						
	なし						
遅起きラジオ体操 in石崎川公園	地域住民	28,560	28,560	0	0	0	28,560
	462名						
	なし						
遅起きラジオ体操 inみなとみらい	地域住民	6,720	6,720	0	0	0	6,720
	36名						
	なし						
おやじの時間	60歳以上男性	4,568	4,568	0	0	648	3,920
	105名						
	なし						
家族介護者のつどい	地域住民	22,000	22,000	0	20,000	2,000	0
	37名						
	なし						
ノルディックウォーキング inみなとみらい	地域住民	73,522	47,922	25,600	50,112	12,220	11,190
	114名						
	300円						
福祉用具相談・展示事業 転ばぬ先の杖	地域住民	0	0	0	0	0	0
	40名						
	なし						
出前講座	地域住民	0	0	0	0	0	0
	42名						
	なし						
認知症サポーター養成講座	地域住民	0	0	0	0	0	0
	147名						
	なし						
回想法勉強会	地域住民	55,680	55,680	0	55,680	0	0
	73名						
	なし						
ケアマネサロン	ケマネジャー	5,568	5,568	0	5,568	0	0
	346名						
	なし						
わたぼうしカフェ	地域住民	0	0	0	0	0	0
	352名						
	なし						

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
みなとみらいフォレシス 出張相談会	ケアマネジャー	0	0	0	0	0	0
	60名						
	なし						
西区社会福祉士「権利擁護」 共催事業	地域住民	0	0	0	0	0	0
	65名						
	なし						
元気づくりステーション「楽し く明るく元気サロン」	高齢者	0	0	0	0	0	0
	399名						
	なし						
元気づくりステーションに類 する活動「元気サロン」	高齢者	0	0	0	0	0	0
	168名						
	なし						
よろず相談会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	151名						
	なし						
すいせん茶寮	事業者	14,882	9,382	5,500	0	4,982	9,900
	12名						
	なし						
みんなで遊ぼう	未就園児・保護者	61,284	49,484	11,800	42,840	4,644	13,800
	756名						
	0～300円						
ゆっくりフラダンス ロケラニ	地域住民	132,846	73,746	59,100	122,496	0	10,350
	197名						
	300円						
コミュニティーキッチン5	地域住民	44,650	25,050	19,600	3,000	39,410	2,240
	134名						
	200円						
らくらく健康ストレッチ	地域住民	95,800	60,200	35,600	85,000	0	10,800
	168名						
	200円						
手打ちうどんを作ろう	地域住民	10,000	7,300	2,700	0	10,000	0
	16名						
	500円						
アクティブシニアの はりきりクッキング	団塊世代	224,208	137,208	87,000	50,112	174,096	0
	146名						
	500円						
アクティブシニアの 初夏の鎌倉ハイキング	団塊世代	7,500	2,500	5,000	0	6,940	560
	10名						
	500円						
アクティブシニアの Music House	中高年	4,320	4,320	0	0	4,320	0
	119名						
	なし						

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ボランティア感謝会 & 交流会	ボランティア	69,588	69,588	0	10,000	58,028	1,560
	45名						
	なし						
西区自立支援協議会 障がい児者余暇支援事業	障がい者・ボランティア	8,117	8,117	0	0	8,117	0
	40名						
	なし						
第14回戸部本町 地域ケアプラザまつり	地域住民	190,963	190,963	0	0	93,651	97,312
	703名						
	なし						
障がい児余暇支援 ○△□	障害児と保護者	0	0	0	0	0	0
	19名						
	なし						
ママ友倶楽部	0歳児・保護者	126,820	62,320	64,500	126,820	0	0
	439名						
	200円						
はり切りカフェ	高齢者	40,474	18,874	21,600	14,136	26,338	0
	378名						
	100円						
パパとママのための 救急講座	乳幼児養育者	0	0	0	0	0	0
	42名						
	なし						
わいわいクラブ 初夏のコンサート	地域住民	19,718	19,718	0	15,000	4,718	0
	55名						
	なし						
大人のチャレンジ塾① ブリザーブドフレーム アートフラワーを作ろう	中高年	15,568	5,568	10,000	5,568	10,000	0
	10名						
	1000円						
昼間のお月見	高齢者	750	50	700	0	750	0
	7名						
	100円						
レッツ・シング	中高年	267,288	138,288	129,000	267,288	0	0
	273名						
	500円						
大人のチャレンジ塾② キッチンハーブを作ろう	中高年	13,068	5,568	7,500	5,568	7,500	0
	15名						
	500円						
大人のチャレンジ③ クリスマスリースを作ろう	中高年	35,568	5,568	30,000	5,568	30,000	0
	15名						
	2000円						
大人のチャレンジ塾④ 手作り味噌を作ろう	中高年	23,568	5,568	18,000	5,568	18,000	0
	18名						
	1000円						

